

各位

会社名 株式会社ひかりホールディングス
(コード番号1445 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 倉地 猛
問合せ先 取締役経営管理本部長 立川 征吾
TEL 0572-56-1212
URL <http://www.h-holdings.jp>

2023年8月期 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年10月17日に公表しました業績予想を下記の通り修正しますので、お知らせいたします。

記

1. 2023年8月期通期 連結業績予想数値の修正

(2022年9月1日～2023年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,243	4	0	△26	△104.13
今回修正予想 (B)	3,603	△23	△33	△77	△303.76
増減額 (B-A)	180	△27	△33	△51	△199.63
増減率 (%)	5.3	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年8月期)	3,641	△46	△42	△87	△336.57

2. 修正の理由

売上高については、前回予想を上回る3,603百万円を見込んでおります。前期実績より大きく落ち込む予想をしておりましたが、各セグメント毎の売上高が前期と同等に推移し、その中でもタイル・石材加工事業については、コロナ禍の収束により、受注が好調に推移したことで、落込みを最小限に留めることができました。しかしながら、材料費及び人件費等の原価上昇分を経費削減等の施策で吸収することができなかったこと等により、前回予想を下回る営業損失23百万円となりました。また、当期においては、輝龍株式会社をグループ化した際に、買収資金を金融機関からの借入で調達したことにより、経常損失33百万円となりました。また、不採算部門ののれんの減損損失42百万円を計上することにより、親会社株主に帰属する当期純損失は前回予想を下回る77百万円を見込んでおります。

以上を踏まえ、当社グループは、各事業の売上拡大、不採算部門の計画見直し及び経費削減等による収益性向上に引き続き取り組んでまいります。

以上

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。